身近な防犯「こども１１０番の駅」を見つけた！
～昭和女子大学附属昭和小学校の文化祭発表～

”３年生の総合学習で「防犯」について調べています。児童が見つけた「こども１１０番の駅」のポスター、ステッカーをお借りできないでしょうか。文化祭で発表します。”
とお電話いただき、その発表会に行ってきました。

発表会

■１１月８日（土）場所は東急田園都市線三軒茶屋駅に近い昭和女子大学附属昭和小学校です。
■当日は、昭和女子大学の「秋桜祭」と、幼稚部・初等部・中等部・高等部が足並みをそろて、「昭和祭」が開催され、大変な賑わいでした。

防犯の取組み

■総合学習の中で、「私たちの町」として「自分たちの住む町の歴史や土地がら」「町なみ」「町の環境」や「防犯」などをテーマに、７つのグループで研究を進めていました。
■その中で、子供たちは、防犯グループが発表した「世田谷区は狙われやすい町」「こども１１０番の家」や地元の警察の方に教わった「いかのおすし」が強く印象に残ったそうです。
■そこで、「地域で取組んでいる防犯」について「みんなが安全で安心して暮らせる町づくり」をみんなで調べることになりました。

いかのおすし

〇知らない人についていかない

〇知らない人の車にのらない

〇たすけて！とおおごえをだす

〇連れていかれそうになったら、すぐにげる

〇近くの大人に　なにがあったかを　しらせる

警視庁・東京都教育庁

●みんなで、町に出て「こども１１０番の家」「こども１１０番の店」や「動くこども１１０番」の表示などを調べました。見つけると指差し”はい、ポーズ”
●強く印象に残ったという「いかのおすし」の標語、みんな覚えています。

●東急の「三軒茶屋駅」で見つけました。

●手作りで取組みを発表しました。

●いろいろな防犯標語や告知物を集めました。

●「こども110番の駅」ステッカー

●廊下には、関東の鉄道路線図があり、みんなが通学している駅が「こども１１０番の駅」の対象駅であることを確認しました。

発表のまとめ

■みなさんが、今回の研究を通して、このように結んでくれました。

「私たちが毎日安心して生活を送るために、日頃から、家庭、学校、地域に住んでいる町の人々、働いている大人の人たちなど、多くの人々に見守られ支えられていることを知りました。安全、安心な生活を送るために、私たちは次のことを決意します。
①普段からきちんと挨拶します。
②嫌な事は『いや』としっかり言います。
③家族と１日の出来事を話します。
④人の言うことをしっかり聞きます。
⑤周囲の出来事にきちんと注意を向けます。
⑥私たちを支えてくださっている多くの人々に感謝しながら、
いずれ社会に役立つ人となれるように、しっかり勉強します。」

参考：初めてのいってきます！応援ブック　世田谷区

「こども１１０番の駅」の取組み

■「こども１１０番の駅」は、平成１８年４月から、多数の民営鉄道事業者、ＪＲ旅客会社、公営鉄道事業者等が、より安全・安心な地域づくりに貢献するため共同で全国的に展開しています。
平成２０年度には、１６９社局　2,８６５駅（平成２０年４月１日現在）と拡大され、この取組みを通して、地域の皆様に、より一層安心してご利用いただける駅づくりを目指しています。
「こども１１０番の駅」のステッカーを見て、こども達が助けを求めてきた場合は勿論のこと、”困ったことがあったら、いつでもおいで”と門を開け、こども達にとって楽しく、フレンドリーなやさしい駅を目指さなければと痛感しました。

むすび

■３年生のご担任で研究発表をご指導された肥沼教諭。

■当日は大変お忙しい中、会場をご案内していただきまして、ありがとうございました。

■「今回の研究は、学年を通じての総合学習の一環として行います。これからも、続けていきます。」
とお話されました。
これからの取組みも楽しみにしています。